

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社秋森鉄筋 工場・事務所	階数	地上 3F
建設地	相模原市南区当麻宿 土地区画 整理事業地内6街区1,6街区5	構造	S造
用途地域	工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	45 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年7月27日
敷地面積	4,253 m ²	作成者	(株)佐藤清建築設計事務所
建築面積	2,628 m ²	確認日	
延床面積	2,989 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 81%
③上記+②以外の 81%
④上記+ 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	省エネルギーや耐久性に配慮して、地球温暖化防止・ヒートアイランド現象の緩和を図っている。	その他 特になし
Q1 室内環境	断熱性能の高い外壁材の選択、屋根裏の断熱材設置等により空調負荷の低減に努めている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地周囲に緑地を効果的に配置し、植栽に親しむことができるように配慮している。
LR1 エネルギー	高効率エアコン、照明の採用で設備システムの高効率化を図っている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ を削減し、地球温暖化防止を図っている。
Q2 サービス性能	節水器具を使用し、水資源保護に努めている。耐用年数の長い材料を使用して資源の保護を図っている。	
LR2 資源・マテリアル	節水器具による水資源の保護と再生品再利用が可能になるような工法を取り入れて資源の使用量を削減するよう努めている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される